

「リウマチ患者の日常生活の実態と、支援に必要となるもの」について兵庫県立大学シンポジウム-産学共生への挑戦-において演題発表し優秀賞をいただきました。

選考理由は、産学連携や製品開発に資する発表であったことと、企業の方々にもわかりやすい発表内容であったことでした。

要 旨：関節リウマチ患者は、関節を中心とした運動器の疼痛があり、進行性の機能障害がおこるため、日常生活には自助具が必須となる。関節に負担をかけず手軽に使える自助具はまだ十分に開発がされていないし、既にあるものでも改良が必要であったりする。本研究ではリウマチ患者さんが必要とする自助具に関して Web 上で情報を収集した。結果、重くて持てない事を解消する製品の開発への要望が多いことがわかった。